

平成16年度学校経営計画

1 学校の現況

学校番号	24		学校名	茨城県立緑岡高等学校			課程	全日制			学校長名	植木行宏				
教頭名	高根沢勝男									事務室長名	馬淵一					
教職員数	教諭	50	養護教諭	1	常勤講師	0	非常勤講師	7	実習教諭, 実習講師, 実習助手	3	事務職員	4	技術職員等	2	計	67
生徒数	小学科	1年		2年		3年		合計		合計		合計		合計		合計クラス数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	普通科	151	91	155	85	141	93	447	269					18		
	理数科	35	5	30	11	30	8	95	24					3		

2 目指す学校像

「誠実」「進取」「協和」の3つの校訓と校章の梅が象徴する好文の志を体し、誇り高い学校文化を備え、積極的に学問を究め、社会に貢献し得る人材を輩出する進学校を目指す。その達成のため授業を中心とした学習活動を推進するとともに、問題解決を体験できるさまざまな場を設け、自励心、たくましい身体、向学心、自信と誇りを育み、自己実現を目指し勉学に勤しむ気風の高揚に努める。

3 現状分析と課題

項目	現状分析	課題
学習指導	授業を中心とした学習活動を展開し、放課後及び土曜日にも課外を実施している。授業以外の学習時間も増えつつある。 県内唯一の理数科として数学・理科に興味関心をもつ生徒が多く、理科・数学の学習や校外体験学習等に積極的に取り組んでいる。	主体的に学習に取り組む意欲や態度を養い、自ら学ぶ習慣を確立させ、一層の学力向上を実現する指導法 理数科の独自性を活かした教育課程の編成と体験学習の充実
進路指導	職業観・学問観の育成セミナーや総合的な学習の時間「緑高タイム」(1年)等の機会を利用し、生徒が自分にとって納得できる望ましい進路を実現するための3年間を見通した進路学習体制が確立されてきた。国公立大学進学希望者が多く、第一志望大学への合格率は上昇しつつある。	生徒一人一人に対する個別の相談・指導体制の確立
生徒指導	基本的な生活習慣は概ね良好である。また、HR討論や活動を通して規範意識の向上を図っている。また、自転車通学指導を中心に交通安全指導にも力を入れている。しかし、身だしなみについては指導が不十分である。	端正な身だしなみを身につけさせる啓発・指導の強化
特別活動	一人一役体制で生徒会・HR活動、学校行事を実施し、部活動加入率も高く、多くの生徒が意欲的に学校生活を送っているものの、責任感や活動に対する自信が弱い。	職員を含め、全校を挙げて活動の意義を再確認し、積極的に活動に関わる体制を確立する。

4 中期的目標

1	生徒のレディネスを的確に把握し、授業における内容理解の徹底と学習習慣の確立を図りながら、自学自習による学力定着を期す。
2	生徒が自らの適性を能力に見極めながら、能動的に学習を進めたいという意欲を喚起し、自己学習の習慣を確立し、自ら学ぶ意欲を高める。
3	公的な集団における自立的活動をとおし、自己学習の習慣を確立し、自ら学ぶ意欲を高める。
4	スポーツ振興および情報活用を積極的に発信し、生徒の自己学習の習慣を確立し、自ら学ぶ意欲を高める。
5	教育活動に関する情報を積極的に発信し、生徒の自己学習の習慣を確立し、自ら学ぶ意欲を高める。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	<p>授業における基礎的な内容の理解の徹底</p> <p>進路ガイダンス体制の充実と相談体制の確立</p> <p>自学自習（授業・課外以外の）サポート体制の強化推進</p> <p>進学実績の向上</p> <p>課外指導の充実</p> <p>特色ある教育課程の編成と運営</p> <p>自律的な生活習慣の確立</p> <p>自主運営できるホームルーム・生徒会活動の育成</p> <p>教育活動に関する情報の積極的提供</p>	<p>1・2年時に各教科の基礎的な学習内容の定着を図るため、授業とその前後の日常的な自学自習の習慣づけを期す。その自らが学ぶ習慣を確立するために、授業の振替率95%と授業開始時間厳守に努め、授業時間数の確保を図るとともに、教科内において授業の指導法や学習課題の提供方法について研究する。</p> <p>自らの適性能力を見極め、職業や大学など将来の夢について身近に感じ能動的に学び考える力と意欲を高めるため、進路行事の一層の充実を期す。また、ホームルーム担任を中心とした進路の実現のため面接・相談体制の充実を図る。</p> <p>学習進度表（シラバス）の充実・活用を図り、自らの到達目標を見極めて学習を行えるような習慣を確立するための動機付けや指導法を研究する。また、放課後および土曜日の学習室の開放について協力体制を築く。</p> <p>大人数進学を展開し、学力の向上を図る。</p> <p>早朝、放課後、土曜日および長期休業中における課外出席者に適切な内容を提供するための方策を研究・実践し、大学受験に対応できる学力の定着を図る。</p> <p>生徒の多様な進路希望に対応できる教育課程の編成を図る。また、本県唯一の理数科設置校としてその特色を十分に発揮するために、さらに体験学習や3年間を見通した教育課程の編成に努める。</p> <p>本校独自に実施している「コミュニティライブラリ討論LHR」等集団での活動の場を活用し、異なる考えをもつ者同士の公的な立場を理解し合い、とくに身近な場において自らを律し、自身や集団の生活を向上させていけるよう意識の高揚策を研究し実践する。</p> <p>担任による面接やホームルーム経営と生徒の役割活動を基盤に、各自が自己発現の場を得て学校生活に主体的に取り組む素地を育成する。そして、クラス・学年・学校単位での行事の企画と計画に沿って集団で行動することを体験させる。そのために職員が全員でサポートする協働体制を強化する。</p> <p>教育活動について、学校評議員会、PTA総会、同運営委員会、インターネット・ホームページ等を利用して保護者・地域社会に積極的に情報を提供する。</p>	
2年次	<p>進学実績の向上</p> <p>課外指導の充実</p> <p>個に心じた学習指導の工夫・実践</p> <p>健康で安全な生活の習慣づくり</p> <p>集団への帰属意識と責任感・貢献心の育成</p> <p>学校運営に対する保護者や生徒からの要望の反映</p>	<p>前年度の指導体制の点検を充分に行い、二層の進学指導の充実を図る。</p> <p>前年度の実施状況の点検を充分に行い、二層の課外指導の充実を図る。</p> <p>授業をより充実したものにすることを、課外・課題・個別指導の充実を図る。</p> <p>薬物・エイズ・喫煙・交通安全・心理等の面において心身の健康と安全を主体的に維持増進できるよう啓発に努める。</p> <p>集団生活の向上のために、集団づくりに積極的に参加貢献して責任を果たせるよう、公的な貢献心、リーダーシップを育む。</p> <p>保護者や地域社会、生徒からの教育活動に対する要望や期待を聴取する機会を積極的に設け、学校運営に反映させる。</p>	
3年次	<p>進学実績の向上</p> <p>課外指導の充実</p> <p>心の教育の充実</p> <p>文化の質的充実</p>	<p>前年度の指導体制の点検を充分に行い、一層の進学指導の充実を図る。</p> <p>前年度の実施状況の点検を充分に行い、一層の課外指導の充実を図る。</p> <p>豊かな人間性を育むための体験活動の充実を図り、LHRの時間を中心に奉仕的貢献心の高揚に努める。</p> <p>日々の学習で得た知識を活かす創造力・発信力、応用力・総合力を育み、緑高祭等における文化創造の質的充実へ向けて職員全員が支援する体制を強化する。そして、特別活動により生じる自信や活力を最大限に学校経営に活用する。</p>	